SENNHEISER

Travel

Silence For Your Aural Indulgence

PXC 310

説明書

目次

安全に関する注意事項 2
PXC 310 4
同梱内容 5
製品の概要 7
PXC 310 をご使用になる前に 8
　バッテリーの充電 8
　ヘッドバンドの設置 10
　PXC 310 をオン / オフにする 11
　PXC 310 をオーディオケーブルに接続する 11
PXC 310 を操作する 12
　PXC 310 をリスニング環境に適応させる 12
　音量を変更する 12
PXC 310 を持ち運ぶ 13
PXC 310 のクリーニングとメンテナンスをする 14
エラー発生時には 15
アクセサリと交換部品 16
技術データ 17
製造者による宣言 18

安全に関する注意事項

- ヘッドホンをご利用になる前に、この説明書を良くお読みください。
- 今後の利用のために、この説明書をいつでもあらゆるユーザが読めるように保管しておいてください。ヘッドホンを第三者に渡す場合には、必ず操作説明書と一緒に渡してください。
- 飛行機内では、無線の Bluetooth® 通信が許可されている場合のみご利用ください。
- 周辺環境により特別な注意が必要な場合(道路通行あるいは手作業の際など)、ヘッドホンは使わないでください。
- ヘッドホンを常に乾燥した環境に保ち、超低温あるいは超高温の環境には置かないでください(理想 : 10° C ～ 35°C)。
- ヘッドホンは大切に取り扱い、清潔でほこりのない場所に保存してください。
- バッテリー保護のために、使用後はヘッドホンの電源をオフにしてください。ヘッドホンを長期間使わない場合には、バッテリーを外してください。
- ヘッドホンにより磁場が作り出され、心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着者に危険を及ぼす場合があります。ヘッドホンは、心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器から最低 3cm (1.2 インチ)離してご使用ください。
- 大音量での使用は避けてください。
- Sennheiser 純正のネットワーク部品および充電ケーブルのみをご利用ください。
- 水気のあるところの近くでは装置およびプラグ部を使用しないでください。装置およびプラグ部は雨や湿気から離してください。火災や感電の危険があります。
- 以下の場合は、プラグ部分をソケットからはずしてください。
  - 装置を電力網から外す場合
  - 雷雨が発生した場合
  - 装置を長期間使用しない場合
- プラグ部分は、適合する電力タイプ(25ページ「技術データ」を参照)でのみ操作してください。
- プラグ部分については、以下のことに常にご注意ください。
  - 正常な状態で、使用可能な状態であること
  - プラグに確実に差し込むこと
  - 認められた温度範囲の中で動作させること
  - 覆ったり、長時間直射日光に当てないこと(25 ページ「技術データ」を参照)装置およびプラグ部分は熱源の近くで動作させないこと。
- Sennheiser が推奨する追加機器 / アクセサリのみをお使いください。

規定に沿った使用

規定に沿った使用には、以下の内容が含まれます。

- 取扱説明書、特に、ページ 2 “ 安全に関する注意事項 ” をよくお読みください。
- ヘッドホンは、取扱説明書にあるとおり、操作条件に従ってお使いください。

ヘッドホン は、本取扱説明書に記載された以外の使い方や、操作条件を遵守しない使い方はしないでください。

リチウムポリマーバッテリー用の安全上の注意

乱用あるいは規定に沿わない使用の場合には、バッテリーが消耗してしまう場合があります。極端な場合においては、以下の危険があります。

- 高温
- 発火
- 爆発
- 煙やガスの発生

バッテリーの不正使用あるいは規定に沿っていない使用の場合には、Sennheiser はいかなる責任も負いません。

	子どもの手の届く範囲には保管しないこと。		完全に充電した電池と充電されていない電池を一緒に置かないこと。
	対極性に注意すること。		ショートさせないこと。
	使用済のバッテリーは必ずゴミ回収所に廃棄するか、専門業者のもとに返却すること。		バッテリーを装着した装置は使用後には電源を切ること。
	バッテリには指定された Sennheiser のバッテリーのみを使用すること。		長期間使用しない場合にはバッテリーを定期的に再充電すること(約 3 か月ごとに)。
	10℃/50˚F ～ 40℃/104˚F の温度環境でのみバッテリーの充電を行なうこと。		直射日光や火に投げ込むなどの形で、70˚ C/158˚ F 以上に加熱しないこと。
	解体・改造しないこと。		故障したバッテリーを再使用しないこと。
	装置に明らかな故障がある場合には、バッテリーをすぐに取り外すこと。		長期間使わない場合には装置からバッテリーを外すこと。
	Sennheiser の純正バッテリーのみを使用すること。		湿気にさらさないこと。

PXC 310

PXC 310 は、騒々しい環境でも音楽をリラックスして聞くことのできるヘッドホンです。耳を覆う密閉構造および最新世代 NoiseGard のアクティブな騒音カットを実現した PXC 310 は、インフライトエンターテイメントシステムへの導入に非常に適しており、騒がしい環境でも音楽を満喫できるようになります。

NoiseGard™

NoiseGard は、反対の音によって 1kHz までの低周波数の音を打ち消すという原則に従っています。反対の音を作成するために、小さなマイクが周辺の騒音を拾います。NoiseGard の電子装置が聴覚にとって 180° ずれた、すなわち逆の音波を作成します。この結果、両方の音波がお互いを打ち消すわけです。

TalkThrough

お客様はヘッドホンを使用中にも、妨害されずに周囲の人と話すことができます。TalkThrough 機能をオンにすることで、ヘッドホン外部のマイクが周辺の音声信号を全て拾います。周囲の人の声のみが高音質でヘッドホンを通じて耳に転送されます。

重要な特徴

- 外出時に最高：快適かつ頑丈、さらに折りたたみも可能なヘッドホン構造
- 特許で保護されこの装置で採用されたバッフル緩和および Duofol 膜システムによる卓越した音質
- アクティブおよびパッシブ方式のノイズ補正システムで外部騒音から最適な状態に保護

同梱内容

1　ヘッドホン PXC 310
2　バッテリー BA 370 PX
3　USBプラグ付き充電ケーブル
4　電源ユニット PSC 03R-050、国別アダプター
5　オーディオケーブル（2.5 mm → 3.5 mm ジャック）
6　オーディオアダプター（6.35 mm ジャックプラグ）
7　航空機用変換アダプター（3.5 mm ダブルモノジャックプラグ）
8　キャリングケース
9　クイックスタートガイド
10　CD-ROM（取扱説明書）

図の概要

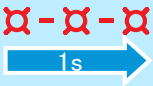
キーを押した場合には図は何を意味しますか？

シンボル	意味
	キーは短く押してください。
	キーを 4 秒間押し続けてください。
	ご希望の設定が受け入れられるか、ご希望のアクションが実施されるまでキーを押し続けてください。

LED の点滅を表す図は何ですか？

シンボル	意味
	この図は点滅を示しています。
	この図は中断を示しています。
	この図はインターバルを示しています。
	この図は継続的な点滅を示しています。

この説明書で使われる図の例：

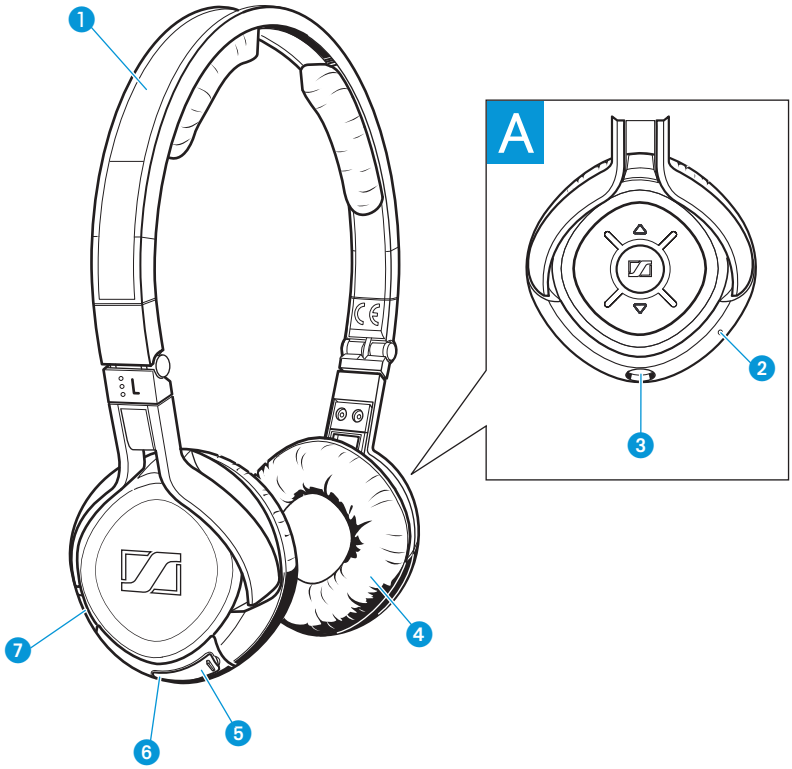
シンボル	意味
	LED は 1 回だけ、3 秒間点滅します。
	LED は 1 秒に 3 回点滅します。
	LED はリズミカルに点滅します。
	LED は 3 回だけ青く点滅します。

“i”とは何ですか？

このヒントは役に立つものです！

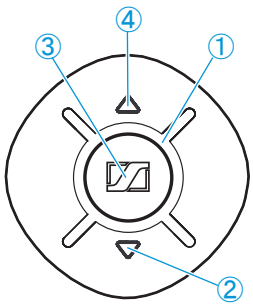
“i” は、ヘッドホンの使用に関する情報を届けるヒントを示します。

製品の概要



1 ヘッドバンド
2 マイクロフォン
3 音声ケーブル用ポート
4 イヤークッション
5 充電ケーブル用ポート
6 バッテリーケース
7 マイクロフォン

A 操作フィールド

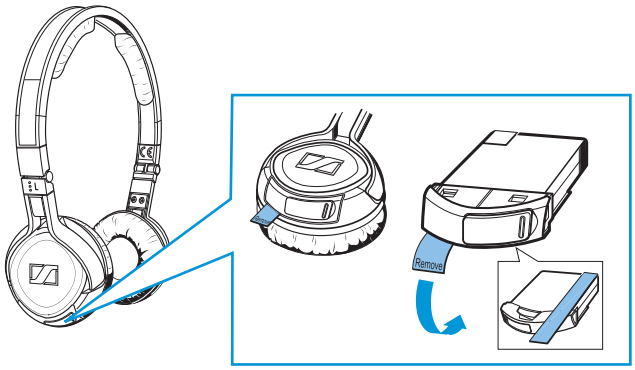


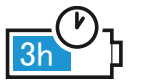
① -LED
② ▼ 音量ダウン
③ Master キー
④ ▲ 音量アップ

PXC 310 をご使用になる前に

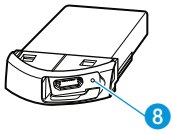
バッテリーの充電

PXC 310 をはじめてご使用になる前に、バッテリーの保護テープを取り外してください。





▶ 最初の使用前には、少なくとも 3 時間バッテリーを充電してください。



バッテリーを充電する場合は、バッテリーの LED 8 が赤く点灯します。バッテリーが完全に充電されると、バッテリーの LED 8 が緑色に点灯します。

バッテリーが消耗すると、⌘-LED ① が赤く点滅します。

バッテリーの作動時間は装置設定、リスニング状況および使用されるオーディオソースによって変化します。

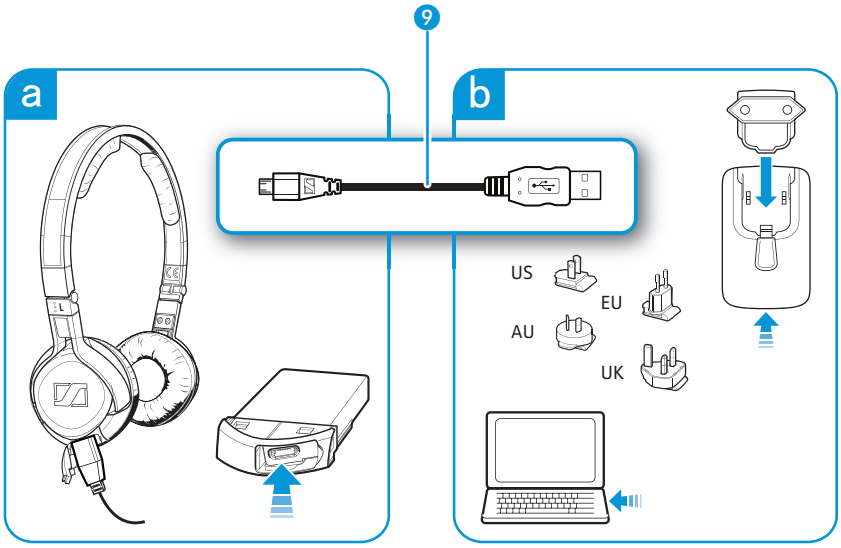
使用方法	バッテリーの持続時間
NoiseGard	20 時間

ヘッドホンを長期間使用しない場合には、バッテリーをバッテリーケースから出してください。

ヘッドホン使用中も、バッテリーをヘッドホン内で充電することが可能です。

バッテリーを充電する方法

充電ケーブル 9 をバッテリーに接続してください。方法については段落 a で紹介されています。その次に充電ケーブル 9 を電源に接続してください。方法については段落 b で紹介されています。



a バッテリーに充電ケーブルを接続

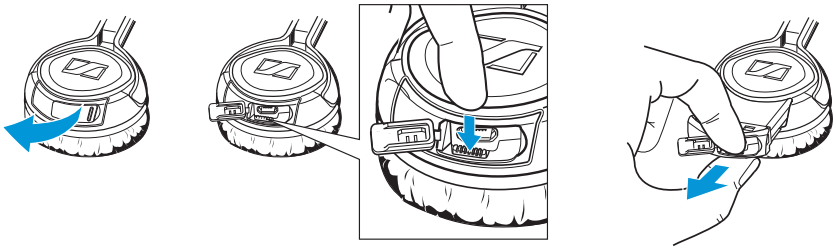
ヘッドホンの内外を問わずバッテリーを充電できます。

① バッテリーをヘッドホン内で充電する場合：

- ヘッドホンキャップの左にあるバッテリーケースのカバー 6 を開いてください。
- ヘッドホンの充電ケーブルの接続部 5 に充電ケーブル 9 を差し込んでください。

② バッテリーをヘッドホン外で充電する場合：

- ヘッドホンキャップの左にあるバッテリーケースのカバー 6 を開いてください。
- バッテリーケースのキー（ギザギザ部分）を押して、バッテリーを取り外してください。

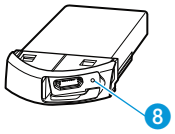


- バッテリーの充電ケーブルポート 5 に充電ケーブル 9 を差し込みます。

b

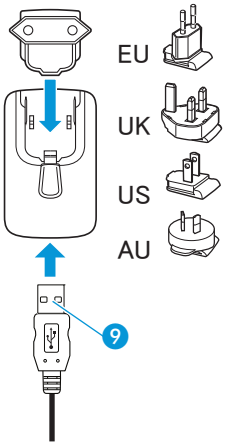
充電ケーブルをACアダプター、パソコンあるいはその他の USB 装置と接続

充電ケーブルをパソコンの USB ポート、付属のACアダプターあるいはその他の USB 装置に接続して、バッテリーを充電することができます。



① 充電ケーブルをパソコンに接続する場合 :

▶ 充電ケーブル 9 の USB プラグをパソコンの USB ポートに接続してください。
バッテリーが充電されます。バッテリーの LED 8 が赤く点灯します。



② 充電ケーブルをACアダプターと接続する場合 :

▶ 充電ケーブル 9 をACアダプターと接続してください。

▶ 国ごとに適切なアダプターをACアダプターに接続してください。

▶ ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
バッテリーが充電されます。バッテリーの LED 8 が赤く点灯します。

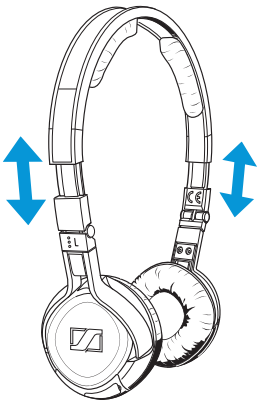
▶ 充電後にACアダプターをコンセントから外してください。

ヘッドホン外でバッテリーを充電した場合 :

▶ ロック音が聞こえるまで充電されたバッテリーをヘッドホンに入れてください。

▶ その後バッテリーケースのカバー 6 を差し込んでください。

ヘッドバンドの設置



良好な音声伝送およびノイズ補正、また最善な装着感を得るには、ヘッドホンを頭の大きさに合わせる必要があります。そのために、ヘッドバンドを段階的に調整できます :

▶ ヘッドバンド 1 が頭の中央の上に来るようにヘッドホンを装着してください。

▶ 以下のようにヘッドホンを設定してください

- イヤークッション 4 が快適に耳にかぶさる
- 耳にソフトな感触が感じられる
- ヘッドバンド 1 が頭をカバーする

▶ イヤークッションが最適に設定されているかどうかを騒々しい環境で確認して、最高のノイズ補正を確保してください。

PXC 310 をオン / オフにする

注意！ 音量が過大な場合には聴覚に損傷を起こすことも！

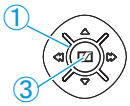
耳元で長時間大音量を鳴らすと、長期的な聴覚障害につながるおそれがあります。

▶ 快適に感じられる音量に調節してください。

PXC 310 はアクティブなノイズ補正を行う NoiseGard を搭載しています。ヘッドホンをオンにすると、NoiseGard もオンになります。

PXC 310 をオンにする

▶ Master ③ キーを、⌘-LED ① が赤く点灯するまで押し続けてください。Master ③ キー を放すと、⌘ -LED ① が赤く点滅します。

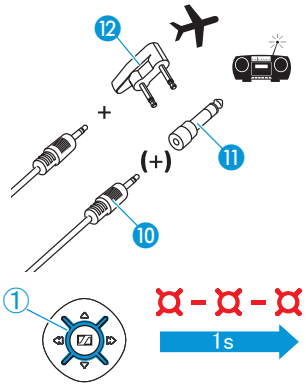


PXC 310 をオフにする

▶ Master キー ③ を、⌘ -LED ① が消えるまで押し続けてください。

PXC 310 をオーディオケーブルに接続する

オーディオケーブルを接続



▶ オーディオケーブルの 2.5 mm 音声プラグをヘッドホンの接続部 ❸ と接続してください。

▶ 3.5 mmのオーディオケーブルの音声プラグ ⑩ を、以下の各部と接続して下さい。

- オーディオソースのヘッドホンソケット
- オーディオケーブルのプラグが合わない場合、6.35 mm ジャックソケット ⑪ 用のオーディオアダプター
- 飛行機内のインフライトエンターテイメントシステム用のヘッドホンを利用する場合、インフライトアダプター ⑫

▶ オーディオケーブルがオーディオソースと接続されている場合には、オーディオソースが聞こえ ⌘ -LED ① は赤く点滅します。

PXC 310 を操作する

PXC 310 をリスニング環境に適応させる

ヘッドホンには TalkThrough 機能が備わっています。この機能はリスニング状況に応じてオンおよびオフすることができます。

TalkThrough をオン / オフにする

PXC 310 は外部の騒音を効果的に打ち消します。TalkThrough 機能を使うと NoiseGard 機能をオンにした場合にも、ヘッドホンを外さないで、周囲の人と話すことができます。

TalkThrough をオンにする場合：

▶ Master ③ ボタンを短く押します。
⌘-LED ① は緑に点灯します。

TalkThrough をオフにする場合：

▶ Master ③ ボタンを短く押します。
⌘-LED ① は赤く点滅します。

TalkThrough を使用すると、音楽を聞くことはできません。

音量を変更する

PXC 310 で音量を変更することができます：

キー	長さ	機能	キー	長さ	機能
		段階的に音量を上げる			段階的に音量を下げる
		一気に音量を上げる			一気に音量を下げる

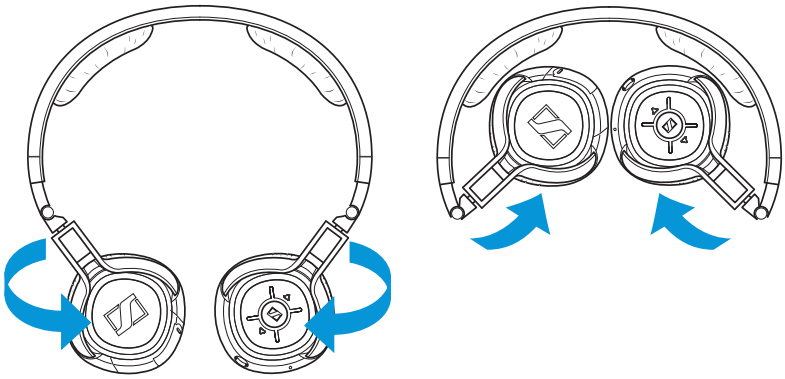
任意のキーを短く押すと、音量を徐々に変更することができます。
キーを長く押すと、音声を最大限まで変更することができます。

最大音量あるいは最小音量になると、ビープ音が鳴ります。

PXC 310 を持ち運ぶ

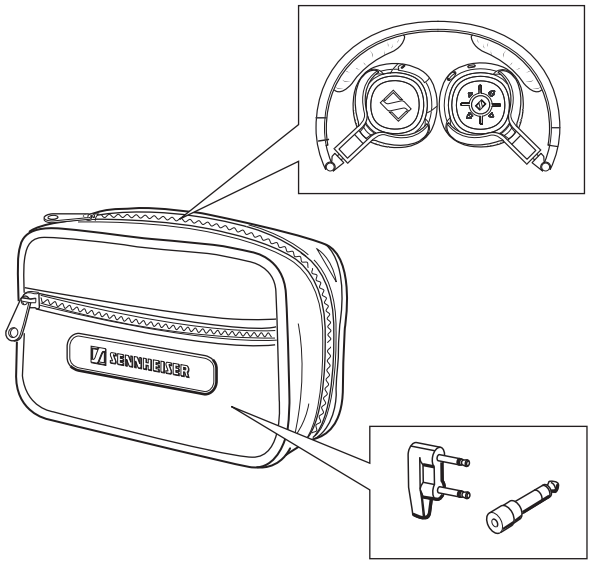
スペースを取らないで持ち運べるようにするため、ヘッドホンは薄くかつコンパクトに、また破損しないように折りたたむことが可能です。

- ▶ ヘッドホンキャップを 90度回転させてください。
- ▶ ヘッドホンキャップを内側に折り畳んでください。
- ▶ キャリングケースにヘッドホンを平らに入れてください。



付属部品はケースの前ポケットに入れて持ち運びできます：

- オーディオアダプター（6.35 mm ジャックプラグ）
- 航空機用変換アダプター（3.5 mm ダブルモノジャックプラグ）



PXC 310 のクリーニングとメンテナンスをする

PXC 310 のクリーニングをする

注意！ 液体は装置の電子部分を破損する可能性があります！

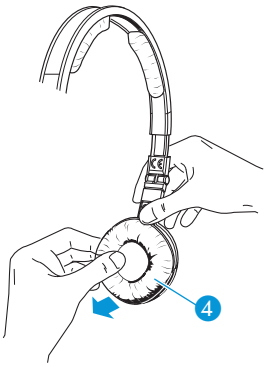
装置のボディに入り込んで、電子部分でショートを引き起こす可能性があります。

- ▶ いかなる液体も装置から離してください。
- ▶ 溶液や洗浄剤は決して使わないでください。

衛生上の理由から、ヘッドホンは定期的にクリーニングしてください：

- ▶ クリーニング前には必ず、ヘッドホンが電力網から切断されていることを確認してください。
- ▶ ヘッドホンは乾いた布でのみクリーニングしてください。

イヤークッションを交換する



イヤークッションは交換することができます。交換用イヤークッションはアクセサリーとして入手できます(16 ページ「アクセサリーと交換部品」を参照)。

- ▶ イヤークッション 4 をヘッドホンキャップから取り外してください。
- ▶ 新しいイヤークッション 4 をヘッドホンキャップにはめ込んでください。

エラー発生時には

問題	考えられる原因	考えられる解決策
電源インジケータが点灯しない ヘッドホンがオンにならない	バッテリーがありません	バッテリーを充電してください（8 ページを参照）。
音声信号がない	オーディオケーブルのジャックプラグが正しく差し込まれていません	オーディオソースへの接続を確認してください（11 ページを参照）。
NoiseGard をオンにすると音声信号が出ない	音量の設定が低すぎます	音量を上げてください（12ページを参照）。
	TalkThrough が有効です。TalkThrough モードでは、音声信号は利用できません	TalkThrough をオフにしてください（12 ページを参照）。
ヘッドホンがどのキーを押しても反応しない	ヘッドホンの機能が故障しています	バッテリーをヘッドホンから取り出し、バッテリーを入れ直してください。次に、ヘッドホンをオンにしてください。

アクセサリと交換部品

PXC 310 用に以下のアクセサリがあります :

商品番号	アクセサリ / 交換部品
531404	イヤークッション ― 1 ペア
531405	ヘッドバンドクッション ― 1 ペア
525776	電源プラグ PSC 03R-050 と国別アダプター 4 点（EU/UK/US/AU）
531406	オーディオケーブル 2.5 mm プラグ → 3.5 mm プラグ
088526	航空機用アダプター 3.5 mm ダブルモノプラグ
077046	変換プラグ 3.5 mm ジャック → 6.35 mm プラグ
531407	USB ケーブル microUSB および USB
535105	バッテリー BA 370 PX

技術データ

形式	ダイナミック、クローズド
形状	オーバーヘッドタイプ
周波数特性	15 ～ 22,000 Hz
インピーダンス	590/100 Ω
音圧レベル	107 dB SPL
歪み率	< 0.1%
オーディオポート	3.5 mm ステレオジャックソケット
オーディオアダプター	6.35 mm ステレオジャックプラグ
インフライトアダプター	3.5 mm ダブルモノジャックプラグ
ケーブル長	
オーディオケーブル	1.4 m
充電ケーブル	0.8 m
質量	約 112 g（バッテリー含む）
バッテリー BA 370 PX	3.7 V; 250 mAh リチウムポリマー
充電時間	3 時間
動作時間	20 時間
動作温度範囲	0° C ～ +40° C
保管温度範囲	−10° C ～ +70° C
パッシブ方式ノイズ遮断	25 dB
NoiseGard を通じた音声消音	23 dB

電源ユニット PSC 03R-050

定格入力電圧	110 ～ 240 V ～
定格入力電流	最大 0.2 A
電源周波数	50 ～ 60 Hz
定格出力電圧	5 V ⎓
定格出力電流	最大 0.5 A
動作温度範囲	0° C ～ +45° C
保管温度範囲	−40° C ～ +85° C
相対湿度	20 ～ 90%
質量	約 61 g

製造者による宣言

保証

Sennheiser electronic GmbH & Co. KG はこの商品を 2 年間保証いたします。現在有効な保証サービスについては、保証書をご参照ください。

適合宣言

この装置は以下の規準の基本要求指令およびその他の規定に対応しています：

- 電磁両立性指令（2004/108/EC）
- 低電圧指令（2006/95/EC）
- RoHS 指令（2002/95/EC）
- WEEE 指令（2002/96/EC）
- バッテリー指令（2006/66/EC）

この宣言は、弊社ウェブサイト www.sennheiser.com でご覧になれます。使用開始にあたっては、国ごとの法規定に留意してください！

以下の要求事項に対応しています：

米国	47CFR Part 15 B
カナダ	ICES-003
ヨーロッパ	
オーストラリア、ニュージーランド	N340

登録商標

Sennheiser および NoiseGard™ は、Sennheiser electronic GmbH & Co. KG. の登録商標です。
iPod® および iPhone® は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

SENNHEISER

Sennheiser electronic GmbH & Co. KG
Am Labor 1, 30900 Wedemark, Germany
www.sennheiser.com

Publ. 07/09
532819/A01